

第7回 加東市議会報告会議事録（要約）

平成27年5月16日（土）19時～21時10分
加東市庁舎2階201会議室

開会 19:00

◎ 開会のあいさつ 司会（小紫議員）

．．．．第一部 「議会報告」．．．．

- * 平成27年度の予算について
- * 総務文教常任委員会報告
- * 産業厚生常任委員会報告
- * 公共施設適正化検討特別委員会報告

【問】 病院会計が1億5千万円の赤字とのことだが、累積欠損金額はいくらか。

病院における不明資産問題が発覚したが、議員の追及が甘すぎる。新公営企業会計制度は2007年に発表され、2009年からの実施を政府が決めている。減価償却、棚卸がきちんとされていない。こんなバカなことではない。

【答】 累積欠損額は後日回答する。

不明資産について、「民間では考えられない。ずさんだ。」ということでは委員会できびしく指摘した。今後は、備品台帳もしっかり適正に管理していくとの答弁をもらっている。

【問】 病院長の孤軍奮闘が痛々しい。支援体制がなっていない。議会においても、特別委員会の設置を否決した。他市の例では、病院を「赤字が出るのはやむを得ない」と特別扱いせず、診療所に格下げ、老健施設へ移行、無駄な投薬をしない、ワクチン接種の公費負担、などの支援体制をとっている。

【答】 病院経営について院長・市長に質している。人件費の削減に取り組み、また、高齢化に対応した病院に取り組むなど、院長から説明を受けている。市長からは人件費等の削減に取り組むことを聞いている。

【問】 公共施設の適正配置の基準、尺度は何か。

計画の策定にあたって、教育委員会と市長部局がズブズブの関係になっているのではないか。公民館には審議会があり、社会教育委員もいる。それらと議論はされたのか。小中一貫教育の係がつくられたが、議論していくのか。学校教育・社会教育に対する教育委員会の頑張りが見えない。教育委員会は子どもの味方になってほしい。社会教育活動をしている市民の味方になってほしい。議会から市長に言ってもらいたい。特別委員会の報告では、東条地域で一貫教育を実施することになってしまっている。東条地域の意見は聞いたのか。先に社・滝野で実施すべき。なぜ東条なのか理由がわからない。

【答】 PTA等でアンケートを実施しており意見を聞かずに進めているわけではない。結果も6月には出ると思う。教職員・保護者・地域住民・学識経験者・教育委員を含めた小中一貫教育研究会を立ち上げることになっている。意見を聞かずに進めているわけではない。

適正配置の尺度については、以前にまとめられた公共施設マネジメント白書において、全ての施設を建て替えることはできないからスリム化していくということである。加東市として持ち切れるかどうかということである。教育委員会のあり方については関心を持ち注目している。会議録についても確認・精査したところ、小中一貫教育についても議論がされている。首長からの独立も担保されないといけないし、総務文教常任委員会でも調査研究していく。

【問】 東条がとかげのしっぽ切りのようにされている。小中一貫教育を、なぜ東条を先にするのか。加東市がモデル校を作って東条に示せばどうか。高浜原発の意見書は出したのか。世界で一番高い原発の料金を負担させられている。

【答】 「東条をとかげのしっぽ切り」は当たらない。見解の相違。東条中学校の老朽化と地すべり地帯の危険除去のため、対応が急がれる。地域にこだわらず、財政面から適正化を進める必要がある。聖域はないということ。
原発の再稼働を慎重にしてほしいという意見書は提出した。

【問】 教育委員会を傍聴に行ったが、子どもの教育についての話し合いは全くできていない。そういう雰囲気でない。とどろき荘での説明会の後に開催された委員会では、ゼロベースで進めていこうということになった。
①小中一貫教育の議論を深める ②どこに建てるか。③その他の公共施

設についての検討。3つをゼロベースで、市民の方も入って検討していただくようになった。そして市長部局から準備委員会を持ちたいという話が出て、「それはゼロベースでない」という意見も出て、採決の結果、否決された。それを委員長が強引に話し合いをやり直し、追加の説明もされ、再度の採決で、このことに限り市長部局に置くことが、委員長の巧みな進め方により可決された。(第二部での発言につづく)

この適正化計画ほど差別的なものはない。潰す施設は東条ばかり。公務員は公平に仕事をしないといけない。それをチェックするのは議会。

【答】 現段階で議会が認めているわけではない。図書館を新築するという計画もある。東条地域に古い施設が多い。見捨てるということではない。公民館を取り壊すのも耐震化の問題から。

【問】 加東市がすることは、行き当たりばったり。小中一貫校に関しても4月からアンケート。今から検討会をつくる。順序が違う。

東条東のアフタースクールは、なぜあの場所に作ったのか。小中一貫校の場所と離れてしまう。整理の仕方が間違っている。議会がチェックしていない。

Bio周辺の活性化が予算化されているが、本来は商店街を活性化すべき。

【答】 東条東アフタースクールは、スクールバスによる送迎で今後も東条東地区の子どもが利用することになる。

Bio周辺活性化について、175号と372号の交差部の地域を中心に道の駅の代わりになるような活性化に結び付けたいというのがこの計画の概要。(以下、Bio周辺活性化について、委員会資料を朗読し説明)

・・・第二部 「議会に対する意見・要望」・・・

【意見】 病院・小中一貫校・Bio。加東市の対応は場当たりの、後手後手にまわっている。教育ビジョン・マスタープランはあるのか。根幹をしっかりと押さえて、議会でもしっかりと取り組んでもらいたい。

【答】 病院の経営方針については院長からも市長からも聞いている。小中一貫教育については、今のところ抽象的なことしか聞いていない。もう少し見守っていただきたい。

【意見】 国も小中一貫校を進めている。東条が反対でダメなら、東条は最後にして他の地区から先に進めればいい。

【要望】 ・河高地区の内水被害調査・水害対策が予算化されている。窪田地区も同じような状況。水害対策を進めてほしい。議会でも窪田地区の状況を見てほしい。
・小中一貫校について、国の施策に乗り遅れないように、課題を整理して進めていただき、財政的にも有利な制度を活用して負担がかからないようにしてほしい。
・公共施設の適正配置について、少子高齢化や財政の将来性を見極め、二重三重に同様の施設があってもいいものかどうか、議会でも十分に検討してほしい。

【意見】 教育委員会での小中一貫校の場所、話し合いでどの場所にするか決めることになっていたのに、市長が区長会長に「探せ」と言って、もう、すると決めている。教育委員会を傍聴に行ってください。恐ろしくなります。強引にグイ グイ グイと進めている。後期基本計画に小中一貫校の記述は全くない。議会の決定もいつの間にか秘密のうちに変更されてしまっている。議会がしっかりとチェックしてください。安心して暮らせない。

【意見】 区長会長ですが、市長から場所を決めてくれなど、一切聞いていない。軽率な発言はしないでください。

【答】 小中一貫校の場所のことは東条地域まちづくり協議会の石田さんに言われたこと。5月中に出てくる予定。議会としても中間報告をまとめている。(内容を朗読)

Bio 周辺活性化について、委員会で十分調査検討していく。

【意見】 公共施設の適正化、「潰してダメ」の大きな声があるが、財政的にこのままいけるのであればコスミックも残せばいいが、30年・40年先に子供たちにとってどうすればよいか、考えてのこと。場当たりのではないと思う。

小さな小学校の父兄からは、自然豊かなところできめ細かな指導でありたいが、11人でサッカーのチームも作りたい。ソフトボールもしたい、ということも聞いている。

【答】 公共施設適正配置の尺度、マネジメント白書では20年で200億円が必要。1年10億円。どうにかしないといけないところからの計画。

【意見】 加東市は膨大な借金を抱えている。財政内容の本当のことは会計士しかわからない。行政と住民がしっかりしないといけない。議会は市長の味方ばかりしている。市民がもっと議会報告会に参加しないといけない。

【意見】 議長の就任あいさつの中に、民意を大切にするとある。私たちの署名6206人分をどう捉えられるか。民意とみていただけるか、よろしくをお願いしたい。

小中一貫校について、実施している学校を視察するばかりでなく、西宮・尼崎など大都市の状況も見てほしい。一貫校は考えていない。法制化は「一貫校を作れ」ではない。東条の校舎はまだまだ使える。一貫校でなく一貫教育で十分。中学校は10年に一度荒れる。小学生が一緒におれるか保護者は心配している。校舎・プール・体育館などを一つにまとめられるから進めている。自民党の国会議員は「わざわざつぶしてまでやってくれとは言っていない。」不登校が本当になくなるのか。ゆっくりと考えていきたい。

◎閉会のあいさつ

21：10 閉会